

競技注意事項（通信陸上）

- 1 本大会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則に従って実施する。
- 2 競技場および練習について
 - ・競技開始前は本競技場を使用してよい。ただし、跳躍や投てきの練習は認めない。
 - ・競技開始20分前までとする。時刻までに後片付けをし、速やかに本競技場から退場する。
 - ・その他の練習は室内練習場または屋外走路を利用して行う。なお、走る方向は競技場と同じ反時計回りとする。
- 3 競技者の招集について
 - ・一時点呼（掲示板の○つけ）を行なう。2種目出場者は競技者係に申し出る。
 - ・招集完了時刻になったら招集所（第4コーナー入口付近）で点呼を行う。
 - ・競技者係が誘導する。（現地へ整列して引率を原則）
 - ・招集完了時刻に遅れた者は棄権とみなし処理する。
- 4 アスリートビブスについて
 - ・定められたアスリートビブスを背と胸につける。ただし、跳躍競技者は背または胸につけるだけでよい。
 - ・腰ナンバーカードはランニングパンツの右側後方につける。ただし、リレーは第4走者だけがつける。
 - ・招集開始時刻になったら、招集所の机の上から腰ナンバー（長距離は胸ナンバー）を取り、自ら取り付ける。
- 5 レーン順 競技順
 - ・トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載どおりとする。
 - ・トラック競技で欠場者のレーンはそのままあける。
- 6 競技について
 - ・リレーのオーダー用紙は招集完了時刻の1時間前までに提出する。
 - ・不正スタートは2021年度の競技規則によるが、小学生においては同一競技者の2回目を失格とする。
 - ・TR16.5の取り扱いについて
中学生以上の「不適切行為」は警告を与える。同じ競技会の同一種目で2度の規則違反があった場合は失格とする。ただし、それ以後の種目の出場は妨げない。
 - ・事故防止のため、短距離走ではフィニッシュ後も自分のレーンに沿って走り通すように、また、リレーの場合、バトンを受け渡した後も自分のレーンに留まり、競技終了後退場する。なおレーン内に貼るマーカーは自チームで用意し、終わったら必ずはがす。
 - ・棒高跳びのバーの上げ方は次の通りとする。（天候などで変更することもある）

	試技	1	2	3	4	5	
中学男子	1m90	2m00	2m20	2m40	2m60	2m70	以降10cmずつ

- ・走り高跳びのバーの上げ方は次の通りとする。（天候などで変更することもある）

	試技	1	2	3	4	5	6	7	
中学男子	140	145	150	155	158	161	以降3cmずつ		
中学女子	115	120	125	130	135	140	145	以降3cmずつ	
四種中男	125	130	135	140	145	150	155	158	以降3cmずつ
四種中女	105	110	115	120	125	130	135	138	以降3cmずつ

- ・競技者に対する助力についてはTR6条に基づく。
- ・2種目を兼ねる選手についてはトラック競技を優先する。

7 競技場の入退場について

- ・競技場はその競技をする選手と競技役員だけが入場することができる。それ以外の者は競技場に立ち入ることとはできない。
 - ・選手は本部前（表彰台付近）を通過することはできない。
 - ・競技を終了した選手は次のように退場する。
- ※ トラック競技 フィニッシュ側ゲートより外に出て、スタート地点に戻り、衣服等を持ち帰る。
- ※ フィールド競技 審判員の指示に従い、安全に外側フィールドを通り自席に戻る。
- ※ リレー競技に出場している選手は最寄りの出口から退場する。

8 シューズについて

- ・シューズソールの厚さは競技規定内のものとする。
- ・スパイクシューズは全天候型スパイク及びピンを使用する。ピンの長さは9mm以下。ただし、走高跳は12mm以下とする。
- ・ニードルピンも使用可とする。

9 表彰について

- ・トラック競技並びにフィールド競技で3位までに入賞した選手は表彰控場所で待機し表彰を受ける。
- ・4位～8位までの賞状は本部横に置くので取りに来ること。

10 応急処置について

- ・医務室は本部内に設けてあり、応急処置までの用意がある。

11 その他

- ・競技終了後、または各自帰宅する時、その周辺を清掃する。（ゴミは持ち帰ること）
- ・落とし物については、競技会終了まで大会本部が預かり、それ以降は競技場事務所が預かる。